

学会（参加・発表） 報告書

◇申請者記入欄 * 申請は、本人が窓口へ提出または事務局へ郵送すること 記入日 2020 年 9 月 8 日

所属	情報理工学 研究科										情報理工学 専攻													
	<input checked="" type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> D (修士 課程)										1 回生 (<input checked="" type="checkbox"/> 4 月入学 <input type="checkbox"/> 9 月入学)													
学生証番号	6	6	1	1	2	0	0	0	5	4	-	3	氏名	藤井 敦寛										
学 会	名 称		国際会議 IEEE ICIEV																					
	開催地		<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 国外																					
	会場名		北九州国際会議場																					
	発表テーマ		Cooking Activity Recognition with Convolutional LSTM using Multi-label Loss Function and Majority Vote <div style="text-align: right;"><input type="checkbox"/> 参加のみ</div>																					
執行した経費 (大まかな金額) ※100 円未満切上げ ※日本円で記入		交通費										円												
		学会登録料・学会参加費・年会費・懇親会費など										円												
		宿泊費・その他										円												
		合計										円												

◇指導教員記入欄	指導教員 (所属/氏名)	研究科 印
*署名と押印をしてください。		※自署の場合は押印省略可

学会で発表した方は、発表に使用した言語にチェックを入れてください。
☐ 日本語 ☒ 英語 ☐ その他 (語)

今回の学会参加・発表によって得られた成果および課題（研究または自身の能力に関する成果・課題）や所感を記入してください
 ※誌上開催の際は、ウェブサイトや論文集に掲載された論文・ポスターの作成にあたり、得られた成果や課題、所感を記入してください

本学会発表への参加，発表を通して，自身の英語力の不足という課題を痛感した．プレゼンテーションは練習を重ねていたこともあり，特に大きな課題は感じなかったが，質疑応答では質問の意図を理解することができず，スムーズな議論を行うことができなかった．質疑や提案を通して得られる知見は大きいだけに，スムーズな議論が出来なかったことは大きな課題だと言える．また，今回発表した論文は，人間の行動をセンサを用いて認識し，その認識精度を評価するものだったが，自身の提案する手法と他の学生の提案する手法を比較した際に，認識精度に大きな差がなかったことから，手法としても改善点が感じられた．

今回の経験を今後どのように活かしていきたいか、今後の目標を記入してください。

先述の通り，本学会発表への参加，発表を通して，自身の英語力の不足という課題を痛感したことから，自身の英語力の強化を図る必要があると考える．中でも，スムーズな議論を行うために，リスニングおよびスピーキングに力を入れて学習していきたい．また，手法についても課題が残ったため，さらに異なる手法を取り入れつつ再度評価を行い，自身の提案する手法での認識精度を向上させていきたいと考えている．

①学会の参加票・名札 ②学会が発行している参加証明書 ③学会に参加したことがわかる写真（学会の立看板と一緒に写っている写真、発表している様子の写真など、申請者本人が写っているもの） のいずれかを貼付してください。（コピー可）

貼付